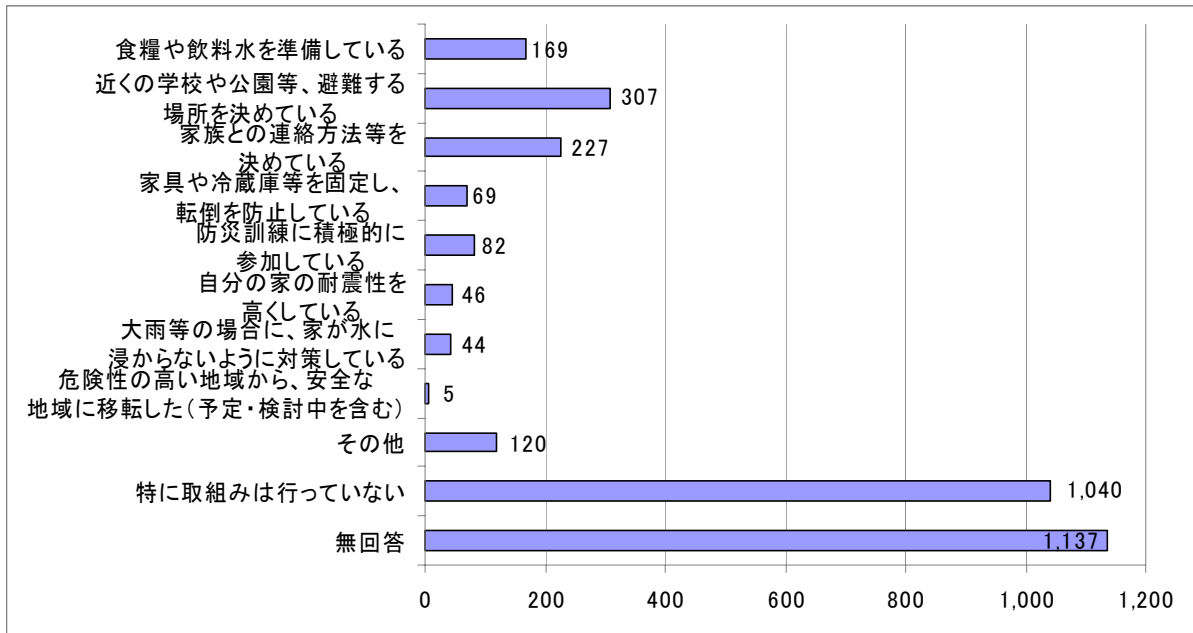


**問 13. 「問 9」で回答した取組みの中で、ハザードマップを見た後に新たに行ったものはありますか？（あてはまるものを全て選択）**

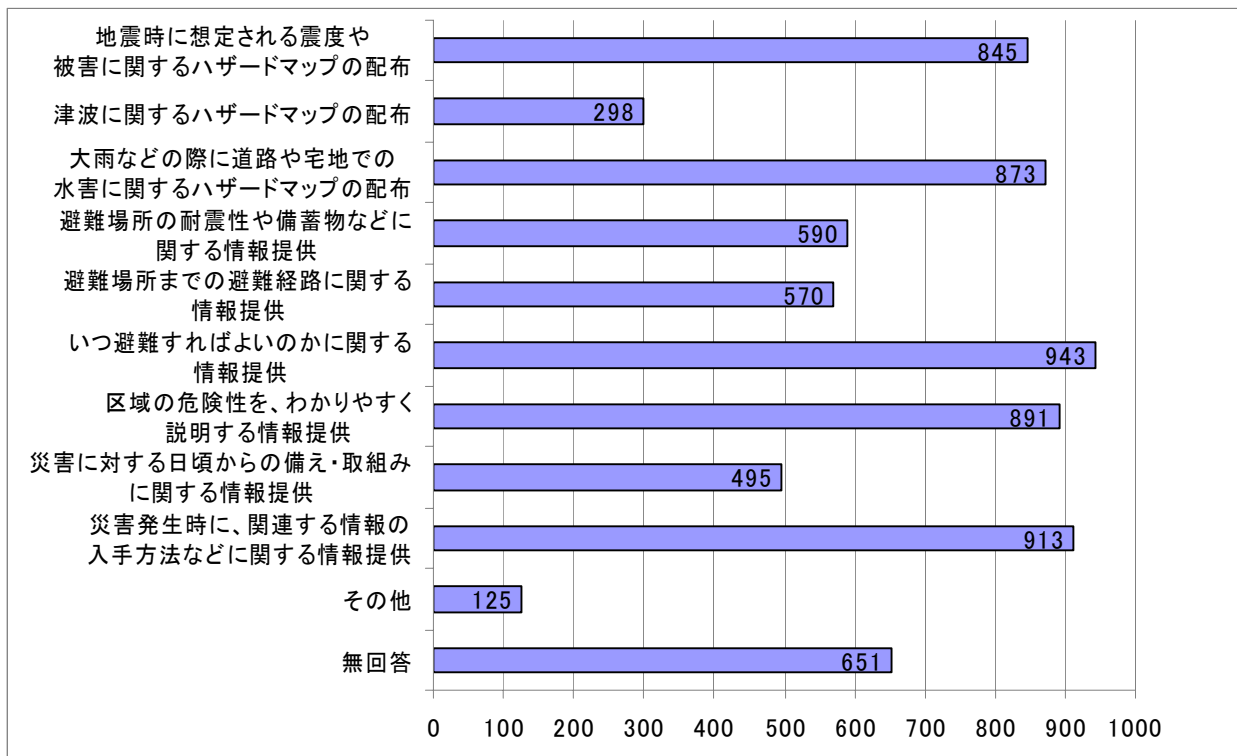
- 特に新たな取組みは行っていないとする回答が最も多い。
- 問 9 と同様に、避難に関する取組みが多い傾向が見られる。



ハザードマップ確認後の新たな取組み	回答数	回答率
食糧や飲料水を準備している	169	6.1%
近くの学校や公園等、避難する場所を決めている	307	11.0%
家族との連絡方法等を決めている	227	8.2%
家具や冷蔵庫等を固定し、転倒を防止している	69	2.5%
防災訓練に積極的に参加している	82	2.9%
自分の家の耐震性を高くしている	46	1.7%
大雨等の場合に、家が水に浸からないように対策している	44	1.6%
危険性の高い地域から、安全な地域に移転した(予定・検討中を含む)	5	0.2%
その他	120	4.3%
特に取組みは行っていない	1,040	37.4%
無回答	1,137	40.9%

**問 14. 現在、洪水・土砂災害のハザードマップを配布していますが、その他に災害関連情報に関して必要と思われる取組みはありますか？（あてはまるもの全てを選択）**

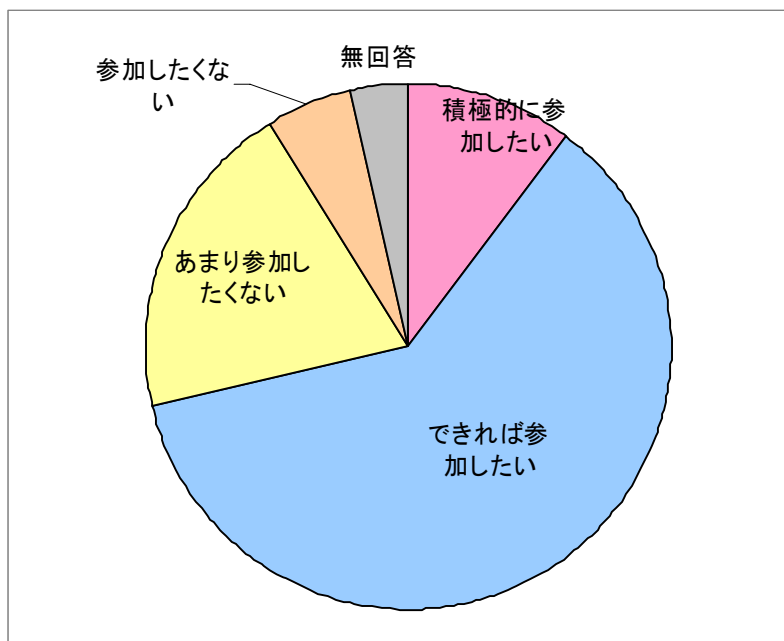
■ 「いつ避難すればよいか」や「災害発生時の関連情報の入手方法」、「区域の危険性」などの情報提供が重要とする意見が多い。



災害関連情報として必要な取組み	回答数	回答率
地震時に想定される震度や被害に関するハザードマップの配布	845	30.4%
津波に関するハザードマップの配布	298	10.7%
大雨などの際に道路や宅地での水害に関するハザードマップの配布	873	31.4%
避難場所の耐震性や備蓄物などに関する情報提供	590	21.2%
避難場所までの避難経路に関する情報提供	570	20.5%
いつ避難すればよいかに関する情報提供	943	33.9%
区域の危険性を、わかりやすく説明する情報提供	891	32.0%
災害に対する日頃からの備え・取組みに関する情報提供	495	17.8%
災害発生時に、関連する情報の入手方法などに関する情報提供	913	32.8%
その他	125	4.5%
無回答	651	23.4%

問 15. あなたは、今後、地域が主体となって安全・安心まちづくりの活動を行う場合、参加したいと思いますか？（ひとつだけ選択）

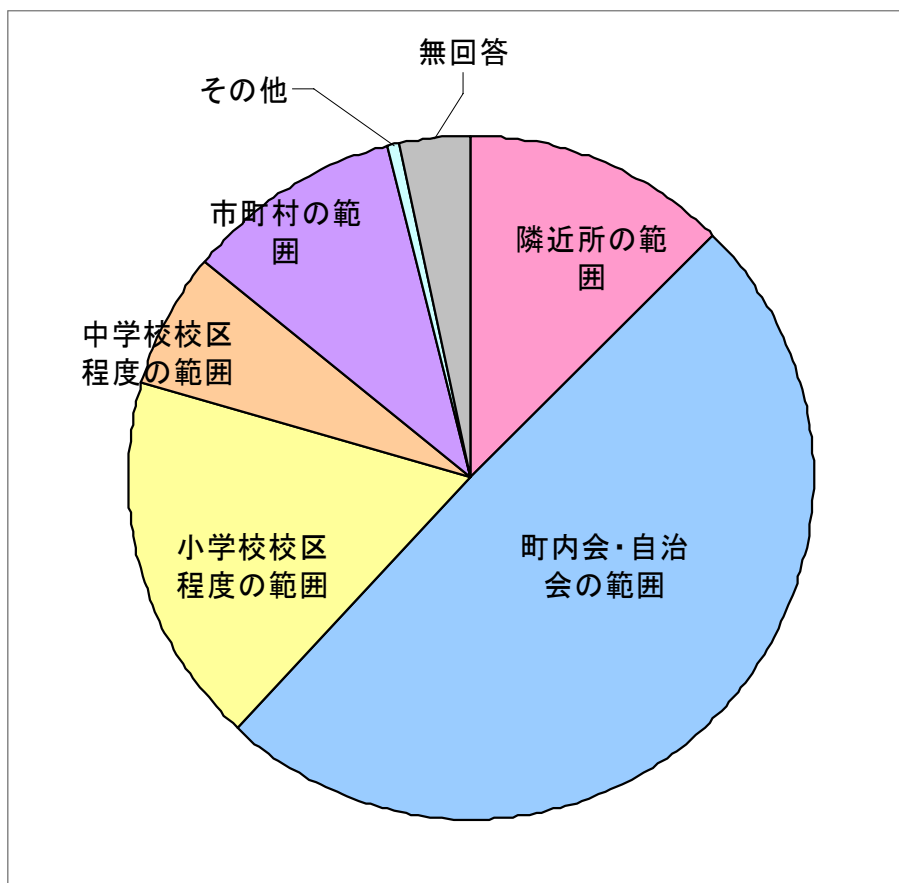
■ 「積極的に参加」もしくは「できれば参加」とする意見が合計で71.3%となっている。



地域が主体の活動への参加	回答数	回答率
積極的に参加したい	285	10.2%
できれば参加したい	1,698	61.1%
あまり参加したくない	549	19.7%
参加したくない	152	5.5%
無回答	97	3.5%

問 16. 安全・安心まちづくりに向けた地域活動を行う際に、あなたがイメージする「地域」は、どの程度の範囲ですか？（ひとつだけ選択）

- 町内会・自治会とする意見が最も多く、約半数を占めている。
- 次いで、小学校区程度（17.4%）となっている



地域範囲のイメージ	回答数	回答率
隣近所の範囲	349	12.5%
町内会・自治会の範囲	1,377	49.5%
小学校校区程度の範囲	484	17.4%
中学校校区程度の範囲	179	6.4%
市町村の範囲	282	10.1%
その他	20	0.7%
無回答	90	3.2%